

DigitalCamera倶楽部

SEP 2017
Vol.141

接 写 中間リング 又は **接写リング** とも言います。

皆さん最近の作品は、マクロレンズなどを使った、クローズアップ作品が多くなりました。天気の悪い日や外出が億劫な時でもテーブルに花などの被写体を置いて、バックに色の付いた紙をセットすればたちどころにマイスタジオの出来上がりです。

そんな時にマクロレンズは便利なレンズで被写体に、より接近して撮影できるので、接写レンズとも言います。

しかし、各レンズの性能で倍率が決まってもう少し大きくアップしたい場合があります。

また、旅行に行くのに風景も撮りたいけれど、高山植物や小さな虫なども撮りたい。そんな時にマクロレンズもバッグに入れるとズッシリと重みがましてきます。

どんなレンズでもカメラとの間にセットする中間リングがあればそのレンズの最短撮影距離を短くすることが出来ます。つまりそれだけ被写体に近づいて撮影できるので、クローズアップが出来ます。

電気接点



デジタルカメラは非常に精密で高度な技術の詰まった電子機器です。

画像を映すためのレンズも高い精度で仕上げられた光学レンズで、このレンズの僅かな移動によってピントを合わせます。また、絞り機構も何枚ものレンズの間におさまっています。



このレンズの前後に動かすためのモーターや絞りを開閉するモーターもレンズの鏡胴内におさまっています。

これらのモーターを動かすためには、カメラ本体の中のセンサーを通した画像が電気信号に変えられて、本体に組み込まれたコンピューターから各モーターに伝えられます。その電気をつなぐための接点がレンズにもカメラ本体にもあります。

当然、中間リングにも付いていなければなりません。電気信号を通すための大事な役目をしているので、購入の際はカメラメーカーの純正品を求めることをお勧めします。

中間リングの厚みは何種類もあり、セットでも売っています。厚みが増すほどに、より被写体を拡大撮影出来ます。何枚かを組み合わせて使用することもできます。

接写にはレンズの前に凸レンズを取り付けて拡大撮影する方法もありますが、レンズが1枚入ることによって画像が劣化する場合もあります。

中間リングにはレンズがない分、画像の劣化を生じません。

そんな良いことづくめですが、撮影距離に制限が生じてピントの合う範囲を超えると、中～遠景にはピントが合いません。

接写リングの長さがレンズの焦点距離よりも長くなる場合はどこにもピントが合いません。

でも、通常に接写をするにはとても便利なものです。



中間リングを 3 枚重ねて、マクロレンズを組み合わせて見ました



ネクタイピンを撮影しました これは普通に全体を写したものの



中間リングの 20 mm
を使用しての撮影



中間リング 20 mm に
25 mm を重ねて撮影



中間リング 20 mm に
25 mm と 36 mm を重ねて
撮影



このように拡大撮影が出来ます。普通に撮影したものをトリミングして引き伸ばしているのではないので、画像劣化が無く撮影できます。

熊谷

鈴木義則 のページ

一夏の楽しみ

プレート移動で作られた急峻な駒ヶ岳



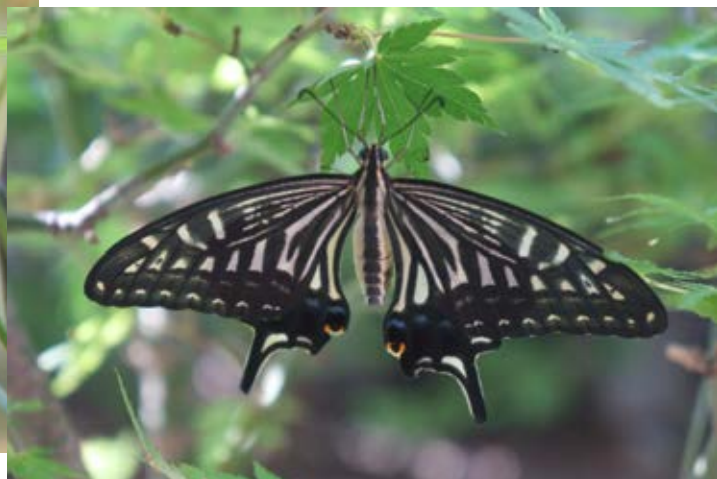
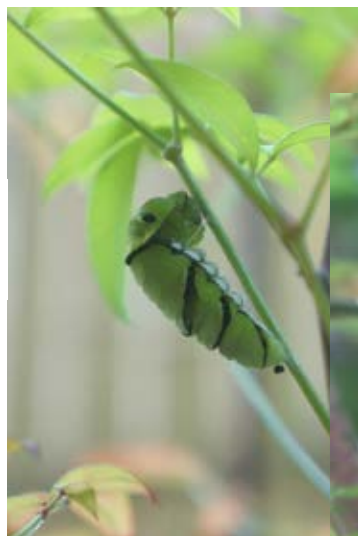
山肌の岩に咲く野草（チングルマ）を幻想的に見せる霧も見どころ





雪崩によると思われる折れ曲がった姿

我が家で育て、羽化したアゲハ蝶 2 種類



アゲハ蝶の蛹と成虫



黒アゲハ蝶の蛹と成虫



別府 29 - 8月ページ

8月2日千畳敷カール撮影会の結果です





白岩のページ



駒ヶ根高原駅広場

森林限界に根づくハイマツの華





八丁坂のガレ場を
一時の至福を求め
歩き続ける



霧の中
見事な山の
稜線を描く

鈴木瑠美子 のページ

木曽駒ヶ岳千畳敷にて（夏の撮影会より）

氷河（2 万年前）で削られた沢が深い



氷河の力を感じる大石（6500 万年前の^{かこうせんりよくがん}花崗閃緑岩）



剣ヶ池への映りもか
すんでいた

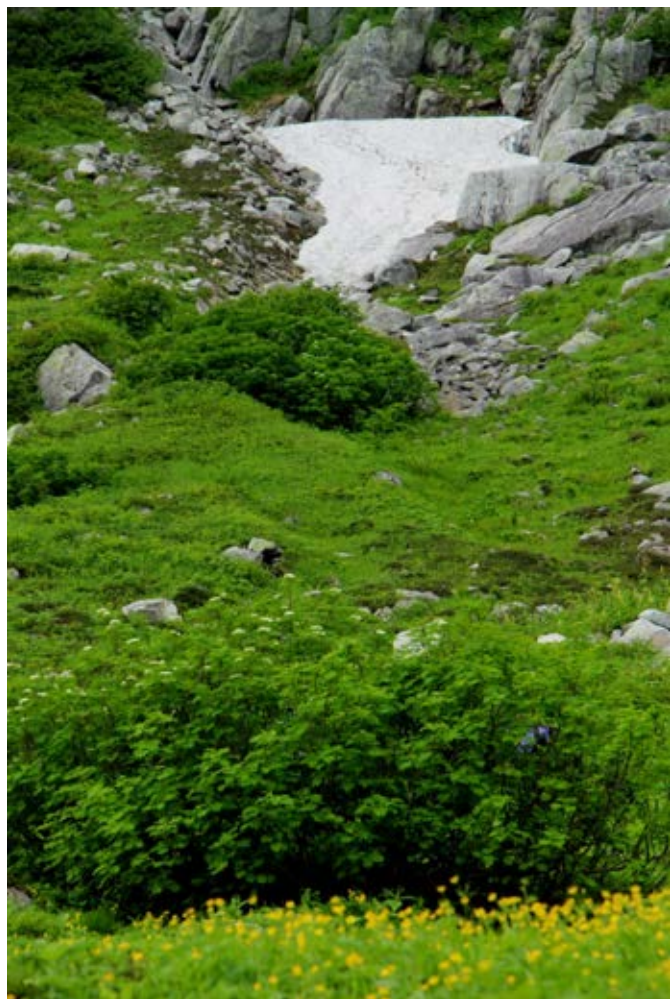


雲の流れも一興



曇りの日でも登山客は多い

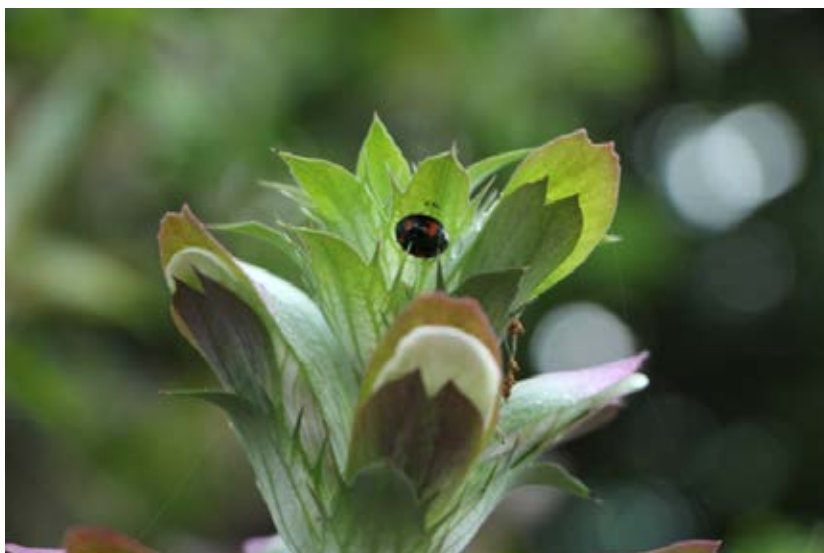
大川のページ



木曾駒ヶ岳戦場敷にて撮影



相模原公園 ハナショウブ



佐藤重信の ページ

今年 8/2 クラブで千畳敷カールへ



下は 7 年前の 10/6 に行った時の写真





左上はシナノキンバイ
右上はミヤマクロユリ
左はヨツバシオガマ

笹原虎夫のページ



駒ヶ根千畳敷カール

コイワカガミ



ミヤマクロユリ



チシマギキョウ

タカネグンナイフウロウ



深山秋の麒麟草